様式第8

平成 24 年度 循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
沖縄県倉浜地域	沖縄市・宜野湾市・北谷町・倉浜衛生施設組合	平成18年度~平成22年度	平成18年度~平成22年度

1 目標の達成状況

○ごみ処理

指標				現状(割合※1) (平成 17 年度)			目標(割合※1) (平成 23 年度) A		実績(割合※1) (平成 23 年度)		В	実績 B(※2) /目標 A
排出量	事業系	総排出量	26,403	t		31,755	t	(20.3%)	26,344	t	(-0.2%)	83.0%
		1 事業所当たりの排出量	6.8	t		6.9	t	(1.5%)	6.7	t	(-1.5%)	97.1%
	家庭系 総排出量		51,127	t		60,262	t	(17.9%)	52,771	t	(3.2%)	87.6%
		1 人当たりの排出量	177.7	kg/人		186.1	kg/人	(4.7%)	171.1	kg/人	(-3.7%)	91.9%
	合 計	事業系家庭系排出量合計	77,530	t		92,017	t	(18.7%)	79,115	t	(2.0%)	86.0%
直接資源化量			6,718	t	(8.7%)	11,096	t	(12.1%)	3,525	t	(4.5%)	37.2%
再生利用量 	総資源化量			t	(13.3%)	19,856	t	(21.6%)	12,114	t	(15.2%)	70.5%
熱回収量	熱回収量(4	-	MWh		43,000	MWh		29,773	MWh			
減量化量	中間処理に	59,064	t	(76.2%)	68,694	t	(74.7%)	63,070	t	(79.7%)	106.7%	
最終処分量	埋立最終処	·分量	9,774		(12.6%)	5,402	t	(5.9%)	4,394	t	(5.6%)	94.9%

^{※1} 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合。

^{※2} 実績B/目標Aの割合について、排出量は実績値で評価、その他の指標は割合で評価した。

2 各施策の実施状況

16 65 TH D.I	事業	1666 - 576	中华主体	****		施期間	施策の実績					
施策種別	番号	施策の名称	実施主体	施策の概要 	(事業計 開始					施策の)美績	
ル ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		ル東の名称 ごみの イイ できない できない できない できない できない できない できない かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう かんしゅう しゅうしゅう こうしゅう しゅうしゅう しゅう	美	施東 意文の が大 が大 が大 が大 が大 がはする理がいる がいるする のの発生にでいる。 のの表する。 ののでは、 ので	(事表計 開始 H18 (H18)	画期间/ 終了 H22 (H22)	化を実施 価につい は、市民 んでいる ・また、負	を いては、 宜野 の 負担感が ることから統 言浜衛生施設 科化を実施し	現在(H2 弯市及で あるなと 一に向り 組合でし	構成市町では 24.6)まで継 び北谷町につ ご慎重な対応 けた具体的な は、平成16年	、可燃ご 続してい いては紛 を要して な検討まで	み、不燃ごみ、粗大ごみの有料 る。料金徴収方法及び手数料単 たーされている。沖縄市について いることやごみの排出抑制が進 ご至っていない。 事業系ごみの可燃ごみ、不燃ご 指定袋の種類及び料金 特大(100cm×95cm) : 30円/枚 大(80cm×65cm) : 20円/枚 中(70cm×50cm) : 17円/枚 小(60cm×40cm) : 15円/枚 小(60cm×40cm) : 15円/枚 ない(20 g) : 17円/枚 小(20 g) : 17円/枚 小(20 g) : 17円/枚
								合汇集件	粗大可燃		シール	300円/枚
							事業系	倉 浜 衛 生施 設 組 合	可燃 不燃	H16.4	従量制	40円/10kg

th Miss Cal	事業	+ + 0 0 1 1	ct +> /+	#-# o lur ==	事業実	施期間	ケケッ ウは
施策種別	番号	施策の名称	実施主体	施策の概要 	開始	終了	施策の実績
発再進が開めている。	12	子で、環及助で、一番では、一番では、一番である。	沖野谷市市市	倉浜地域の小学の 小学の 大学で 大学する	H18 (H18)	H22 (H22)	・本計画期間中の取り組みとして、構成市町内の小学校では、倉浜衛生施設組合のごみ処理施設の見学会を実施した。その他の啓発活動として、沖縄市では小学校へのごみやエコに関する出前講座を実施した。 ・その他の取り組みとして、構成市町では、生ごみ処理機等購入への助成、清掃活動へのごみ袋配布、ホームページでの情報提供等を実施した。 ■啓発活動の実施状況 下・ルー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

-
4
Ì

	施策種別	事業番号	施策の名称	実施主体	施策の概要	(事業計		施策の実績
-4-	発生抑制、再進に関めてある。	13	マイバッグ運動の実施	沖縄市 宜野谷町	商工会議所等の 関係機関と協力 し、マイバッグ運動を展開する	開始 H18 (H18)	終了 H22 (H22)	・構成市町では、本計画期間におけるマイバックの普及啓発事業として、商工会議所等の関係機関と連携し、下表のとおり公共施設や環境イベントでのブースの設置、出前講座、ホームページによる周知、ポスターやパンフレットの配布等を実施した。 ■マイバッグ運動の実施状況 実施内容 ・環境フェアにて傘で作るエコバッグ作成プースの設置(H18) ・庁舎でのエコバック展示会の実施(H19) 沖縄市・ホームページによる取り組み紹介(H22) ・密蒙用冊子エコ/ートの配布(H22) ・出前講座の実施(H22 市内小学校1校:120人) 宜野湾市・ホームページ・市報による周知、ポスター掲示(H20-H22) ・ポスター配布(H20 10,207部) ・ホームペ-ジによる周知(H20-H22) ・協力店舗へのヒアリング調査(H22) (対象:町内大手スーパー4社:来店者の8割がマイバッグ持参)
		事業系一般 廃棄物の減 量化対策 沖縄市 宜野湾市 処理に関する計画 を策定させ、一般廃棄物の減量化の推進を図る (H18)					_ (H22)	・構成市町では、本計画期間中において、処理計画の策定の指導等を行うための体制が確立しておらず、実施までには至っていない。

	ı	
c	5	1
	I	

施策種別	事業	施策の名称	実施主体	施策の概要	事業実	施期間	施策の実績				
他束裡別 	型別 番号 施束の名称 美施主体 施束の做要		他束の概要	開始	終了	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
処理体制の構築・するもの	21	施設を備に区分の変更	沖縄湾町	循環型社会形成 推進のための 理施設整分 う分別区 う分別区	H19 (H19)	H22 (H22)	・構成市町では、新たなごみ処理施設の整備にともない、平成22年度より分別区分を変更し、有害ごみの分別を開始した。 ・変更後の分別区分は、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ(ペットボトル、紙類、かん・びん、草木類)、有害ごみ(乾電池・蛍光管等)の5種8分別である。・また、分別区分の変更を行うに伴い、構成市町では、平成19年度から21年度にかけて地域説明会やごみハンドブック・ポスター配布、ホームページ等による周知を図ることで住民への分別ルールの理解を得られるよう努めてきた。・事業実施後についても、分別が徹底されるようホームページや広報誌等により住民への周知徹底を図っている。 ■分別区分の変更(家庭系) 変更前 沖縄市 可燃、不燃、粗大、資源(ペットボール、紙類、かん・びん、草木類) 可燃、不燃、粗大、資源(ペットボール、紙類、かん・びん、草木類) 可燃、不燃、粗大、資源(ペットボール、紙類、かん・びん、草木類) 北谷町 可燃、不燃、粗大、資源(ペットボール、紙類、かん・びん、草木類)、有害ごみ紙類、かん・びん、草木類) 北谷町 「可燃、不燃、粗大、資源(ペットボール、紙類、かん・びん、草木類)、有害ごみ紙類、かん・びん、草木類) ・本・数類、かん・びん、草木類) ・本・類類、かん・びん、草木類) ・本・類類、かん・びん、草木類)・ボーム・ジ・市 市 広報 銀 (H19 - H22)・地域説明会(H21 37 団体)・ごみルントブック・ボスター配布(H21 60,000 部、H22 30,000 部)・ホームページ・市 和による周知 (H19 - H22)・ごみハントブック・ボスター配布(H20 7,955 部、H21 7,466 部、H22 6,462 部)・ホームページ・町広報誌による周知 (H19 - H22)・ごみハントブック・ボスター配布(H19 9,912 部、H20 1,378 部、H21 1,954 部、H22 10,399 部)				

機成市町では、事業系ごみの資源物の分別収集を開始するため、収集運搬許可業者や排出事業者へのチラシ配布や説明会・意見交換会(協議会)等を下表のとおり実施した。 ・また、平成22年度より実施予定であった事業系資源ごみ(ベットボトル、紙類、かん・びん)の分別収集については、平成23年度より開始している。 ●分別区分の変更状況(事業系) 変更前 変更後(H23.4) 沖縄市 宜野湾市 北谷町 対機・変更に関するもの 協議会等の設置及び収集計画等の説明会を開催する。 ル理計画策定 北谷町	施策種別	事業番号	施策の名称	実施主体	施策の概要	(事業計	1	施策の実績			
・排出事業者用チラシ配布(H21 4,000 枚、H22 2,000 枚) ・収集運搬許可業者への説明会・意見交換会の開催	処理体制の構築・変更に関	番号	事産事業の子のの書のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	沖縄市 宜野湾市	分別収集(粗大) 別ででは ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	(事業計i 開始	画期間) 終了	者や排出事事実施した。・また、ではん) 一分別区分の 一沖電がでする。 一・おん・びん) 一分別区分の 一沖にでする。 一・対象の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は、事業系ごみの資源物の分別収集 業者へのチラシ配布や説明会・意見 22年度より実施予定であった事業系の分別収集については、平成23年 変更状況(事業系) 変更前 可燃、不燃 変更に伴う啓発活動等の実施状況 実施状況 ・収集運搬許可業者等との意見交・排出事業者用チラシ配布(H23)※参 (一般 4,000 枚、英字 3,000 枚、 ・収集運搬許可業者等との意見交	交換会(協議会)等を下表のとおり 資源ごみ (ペットボトル、紙類、 度より開始している。 変更後(H23.4) 可燃、不燃、資源 (ペットボトル、 紙類、かん、びん)	
・収集運搬許可業者への説明会・意見交換会の開催	9 8 6 00		定						(一般 4,000 枚、英字 3,000 枚、 ・収集運搬許可業者等との意見交	集合住宅等管理会社用 300 枚)	
									・市報による周知 (H22) ・排出事業者用チラシ配布(H21 4,00 ・収集運搬許可業者への説明会・	00 枚、H22 2,000 枚)	

施策種別	事業番号	施策の名称	実施主体	施策の概要	事業実 (事業計 開始		施策の実績
	1	リサイクルセンター 施設整備	倉浜衛生 施設組合	選別・破砕・ 圧縮・梱包 約82 t /日	H18 (H18)	H21 (H21)	・ 倉浜衛生施設組合では、既存不燃物処理施設の老朽化、リサイクル法に基づき再生利用の推進のためリサイクルセンター(ストックヤード含む)の整備を行った。 ■施設概要 施設名称 リサイクルセンター(エコルーフ 池原) 所在 地 沖縄市字池原 3394番地 竣工年月 平成22年3月 施設規模 82 t/日(5h) (不燃ごみ21 t/5h、不燃性粗大ごみ7 t/5h、 缶類12 t/h、びん類8 t/h、ペットボトル3 t/h、紙類31 t/h) 敷地面積約90,000㎡(熱回収施設含む)
処理施設の 整備に関す るもの	2	ごみ処理 施設整備 (ごみ発 電)	倉浜衛生 施設組合	約309 t /日	H18 (H18)	H21 (H21)	・倉浜衛生施設組合では、既存焼却施設の老朽化、処理の集約、エネルギーの高効率回収・有効利用のため熱回収施設(ごみ発電)の整備を行った。 ■施設概要 施設 名 称 熱回収施設(エコトピア池原) 所在 地 沖縄市字池原 3394番地 竣工 年月 平成 22年3月 施設 規模 309 t/日 (103 t/24 h×3 t) 形式及び処理方式 流動床式ガス化溶融炉 余 熱 利 用 蒸気タービン発電及び蒸気利用(最大出力6,000 kW) 敷 地 面 積 約 90,000m² (リサイクルセンター含む)
	3	ストックヤード 施設整備	倉浜衛生 施設組合	熱回収施設から発生するスラグ、リサイクルセンターから発生する資源物の貯留を含む	H21 (H21)	H21 (H21)	・ 倉浜衛生施設組合では、不燃物処理施設の老朽化、リサイクル法に基づき再生利用の推進のためストックヤード (リサイクルセンターに含む) の整備を行った。 ■施設概要 施設名称 リサイクルセンターに含む) の整備を行った。 「施設 名称 リサイクルセンターに含む) の整備を行った。 「本設 名称 リサイクルセンターに含む) の整備を行った。 「本設 名 称 リサイクルとターに含む) の整備を行った。 「本記 表 本記 は は は は は は は は は は は は は は は は は は

8
- 1

施策種別	事業 海第 施策の名称 実施主体 施策の概要		施策の概要		施期間	施策の実績			
がら入り主がり	番号	76 X 47 14 117	人心工叶	がは大いが文	開始	終了	ルビネジスが		
施設整備に 係る計画支 援に関する もの	31	ごみ処理施 設整備に係 る磁気探査 業務	倉浜衛生 施設組合	217, 210㎡	H18 (H18)	H19 (H19)	 ごみ処理施設の建設に伴い以下の調査を行った。 事業名:ごみ処理施設整備に係る磁気探査業務 事業期間:H18-H19 調査内容:表面探査、経層探査 各探査等の実施数 経層探査、128,618㎡ 水平探査802㎡ 解析等調査129,421㎡ 確認探査81点 ・調査結果:建設予定地の敷地内より砲弾2発が発見された。 		
	41	再生利用品 の需要拡大 事業	倉浜衛生 施設組合 構成市町	リサイクル商品の提供	H19 (H19)	9) (H22) ため事業実施が延びている状況にある。 ・構成市町においても、体制が確保できないため、再生利用品に関する取り維施できていない状況にある。			
その他	42	家電リサイクルに関する発及啓発	沖縄市 宜野湾市 北谷町	家電けけかは法に基づく処理の普及啓発	H18 (H18)	H22 (H22)	・構成市町では、本計画期間における家電リサイクルに関する普及啓発事業として、下表のとおりハンドブックやポスター配布、ホームページでの住民への周知を図った。ハンドブックやポスターについては、構成市町が住民に毎月配布している広報誌と一緒に配布した。 ■家電リサイクルに関する普及啓発 実施内容 ・ホームページ・や広報誌による地デジ化に伴うテレビの適正処理に関する周知(H18-H22) ・ごみハンドブック、ポスター配布(H21 60,000 部、H22 30,000 部) ・ホームページ・や広報誌による地デジ化に伴うテレビの適正処理に関する周知(H18-H22) ・ごみハンドブック・ポスター配布(H20 7,955 部、H21 7,466 部、H22 6,462 部) ・ホームページ・による周知(H18-H22) ・ごみハンドブック・ポスター配布(H10 7,955 部、H21 7,466 部、H22 6,462 部) ・ホームページ・による周知(H18-H22) ・ごみハンドブック・ポスター配布(H10 9,912 部、H20 1,378 部、H21 1,954 部、H22 10,399 部)		

	ı	
C	٥	0
	Ī	

施策種別	事業	施策の名称	実施主体	施策の概要	事業実		施策の実績	
心水性剂	番号	心界の石が	天加工体	心界の似安	開始	終了		
その他	43	不法投棄 対策	沖縄市 宜野湾市 北谷町	分別区分の徹底 とパトロール強化、 立て看板の設置	H18 (H18)	H22 (H22)	・本計画期間中の取り組みとして、構成市町では、分別排出を徹底するため、クリン指導員を配置し、分別排出時の指導を行った。不法投棄対策としては、パトロルを実施した。また、立て看板を各所に設置した。 ■分別区分の徹底及び不法投棄対策の実施状況 実施内容 ・別・ン指導員による分別排出の指導(H18-H22 随時) ・不法投棄対策としてパトロールを実施(H21 4.1 t、H22 10.6 t) ・立て看板の設置(H21 44箇所、H22 21箇所) ・別・ン指導員による分別排出の指導(H18-H22 随時) ・ ボスチャの設置(H21 44箇所、H22 21箇所)	
							・立て看板の設置(H18-H22 約38箇所) ・ クリーン指導員による分別排出の指導(H18-H22 随時) 北 谷 町 ・不法投棄対策としてパトロールを実施(H18-H22 約200回/年) ・立て看板の設置(H18-H22 約20箇所)	
	44	災害時の廃 棄物処理体 制の整備	沖縄市 宜野湾市 北谷町	災害廃棄物処 理計画を作成 し処理体制を 整備する	- (H18)	- (H22)	・構成市町では、地域防災計画及び構成市町が定める一般廃棄物処理基本計画にて災害時の廃棄物処理について規定している。具体的な災害廃棄物処理計画の策定及び災害廃棄物処理に係る広域処理体制のための条例制定については、構成市町及び組合が協議を継続しているが、本計画期間中においては、実施に至っていない。	

3 目標の達成状況に関する評価

■ごみの排出・処理状況について

(ごみの排出量)

達成状況: ごみの排出量の目標値92.017t(H17年度比約18.7%増)に対し、

実績値は79,115tであり目標値の86.0%に抑制されており目標を

達成している。

また、事業系ごみ、家庭家ごみについても目標を達成している。

評価:事業系ごみについては、平成23年度から資源ごみの分別を開始するなど資源物の分別指導を積極的に行っており、事業者のごみの 排出抑制、資源化の取り組みが浸透しつつある。

> 家庭系ごみについては、啓発活動、キャンペーン、分別の変更に ともなう説明会の実施、生ごみ処理機器購入補助等を積極的に勧 めており、住民のごみ問題への意識改善が図られている。

(再生利用量)

達成状況:再生利用率の目標値21.6%(総排出量比)に対して実績値は15.2% (総排出量比)となっており、再生利用率は増加傾向にあるもの の目標値達成までには至らなかった。

評価:現在、構成市町では、リサイクルの推進に向けて、住民や事業者 への資源化物の分別指導や啓発活動を積極的に進めている。

また、倉浜衛生施設組合では、熱回収施設及びリサイクルセンターにおける、資源物の適正な回収に努めている。

以上のとおり、構成市町では資源化率向上に向けた取り組みを推 進しているが、目標が達成できなかった要因として以下のことが 考えられる。

- ① 排出抑制対策が定着し、ごみの総排出量が減少、1人当たりの排出量は171.1kg/人・年と低く、資源ごみ量の総量が減少している。
- ② 近年有価物の価格高騰により、資源化物を直接民間引取業 者へ持込んで再生利用されている。
- ③ 分別の徹底により家庭から排出される資源物が、抜き取られ民間ルート等を通して再生利用されている。

(最終処分量)

達成状況: 最終処分率の目標値5.9% (排出量比) に対し、実績値は5.6% (排出量比) となっており、目標値を達成している。

評価: 資源ごみの分別の徹底による再生利用量の増加や熱回収施設での スラグや金属類の資源化を行うことで、最終処分量が大きく減少 した。

(その他)

熱回収量: 熱回収量(発電電力量)の目標値43,000MWhに対し、実績値は 29.773MWhとなっている。

評価: ごみの排出抑制や資源化が推進されることで焼却されるごみ量の発生が抑制されているため発電電力量が目標値よりも小さくなっている。

減量化量:減量化率の目標値74.7%に対し、実績値は79.7%となっている。

価:新たに整備した熱回収施設及びリサイクルセンターにおいて、資源物については適正に回収され、可燃ごみ及びリサイクルセンターにおいて発生した可燃残渣については適正に熱回収施設で減量化されている。

施設整備: 倉浜衛生施設組合では、旧ごみ処理施設の老朽化が進行し、適正なごみ処理が困難な状況となっていたため、循環型社会形成推進交付金事業として平成18年度~21年度にかけて熱回収施設及びリサイクルセンター(ストックヤード含む)を整備した。これにより、本地域のごみ処理を適正に行うための体制が確保された。

(都道府県知事の所見)